



2025年8月20日

各 位

会社名 生化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 水谷 建
(コード番号 4548 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員 管理部門担当 竹田 和史
(TEL : 03-5220-8950)

癒着防止材 SI-449 の国内における 医療機器製造販売承認の申請に関するお知らせ

生化学工業株式会社（以下、当社）は、国内において外科手術で使用される癒着防止材として開発を進めてまいりました SI-449（以下、本材）について、医療機器として製造販売承認の申請を行いましたので、お知らせします。

本承認申請は、国内で実施した臨床試験の結果に基づくものです。

当社は、糖質科学領域に焦点を合わせて新製品の研究開発に取り組んでいます。

本材により、術後癒着^{※1}に伴う合併症の発生リスクを低減させ、患者の方々の健康で心豊かな生活の質の向上に貢献することを目指し、承認取得に向けて取り組んでまいります。

なお、本件が 2026 年 3 月期連結業績予想に与える影響はありません。

以上

【ご参考】

《SI-449 について》

当社独自のグリコサミノグリカン^{※2}架橋技術を用いて創製した、コンドロイチン硫酸架橋体を主成分とする粉末状の癒着防止材です。水分を吸収し膨潤する特性を有しており、撒布後に手術創部と周辺組織の間でバリアとなることで、術後癒着の防止・軽減効果が期待されます。

また、本材は架橋剤を含め体内に存在する物質で構成されており、高い生体適合性を有していると考えられます。さらに、粉末状製材であることから、凹凸の多い組織表面への付着性が高く、普及が進んでいる腹腔鏡下手術での操作性にも優れていると考えています。

※1 術後癒着

外科手術（開腹手術・腹腔鏡下手術等）で欠損または損傷した部位が修復する過程において、本来は離れている手術創部と周辺組織が結合し一体化してしまう現象です。術後癒着は、無処置の場合 50～90%の頻度で発生し、腹部や婦人科手術において術後合併症（腸閉塞、慢性的な腹痛、不妊症等）の主要な原因となっています。現在、癒着防止材として、主にシート状やゲル状の製品が使用されています。

※2 グリコサミノグリカン（Glycosaminoglycan : GAG）

複合糖質の主要成分の 1 つ。コンドロイチン硫酸やヒアルロン酸等。

本件に関するお問い合わせは次にお願います。

生化学工業株式会社 総務人事部 コーポレートコミュニケーション担当

E-mail : ir@seikagaku.co.jp

TEL : 03-5220-8950